

---

# 空のいろ。。。

梨香。。。

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

空のいろ。。。

### 【Zマーク】

Z7255L

### 【作者名】

梨香。。。

### 【あらすじ】

主人公の菜津美のトラウマ、悲しい過去から、立ち直るお話。。。

空のいろ。。

levi

- ・ 加藤 菜津美 (15)
- ・ 庄司 香奈 (15)
- ・ 佐野 陸斗 (15)
- ・ 百瀬 春樹 (15)
- ・ 野辺 沙希 (16)
- ・ 南條 栄斗 (16)
- ・ 戸崎 直樹 (17)

空。。

海の青が色移りしたみたいな綺麗な青。

あの人わ今元気にしているだろつか。。。?

いつまで地球わ地球であり続けるのだろうか。。。？

ありがとう。。。。

これからもありがとう。。。

今、この地に足がついていること。。。

あなたが居なければあたしわここにわ居なかつた。。。

どんな人と付き合つても、

心でわあなたが一番だから。。。

高校一年生・。。。

夢と希望と不安と優越感に駆られる、大人えの第一歩・。。。

誰もがそんな気持ちを持つ・。。。

・・・でも  
あたしわ違つた。

友達わ、いつも行動を共にする、

香奈・陸斗・春樹・・・。

初めわ香奈があたしに話掛けてくれたことがキッカケ。

陸斗と春樹わ、二人で居る所で話掛け、ノリで仲良くなつた。

あたしをふくめた四人が族に言つ「イツメン」である。

入学して一か月、

隣のクラスの、少し浮いてるGALの女の子が学校を辞めた。

・・・その時あたしわ、一緒に辞めよつかなあと思った。

そして香奈わ、

「菜津美つて学校樂しいと思つてゐる? ? ?」

と言つてきた。

それわ、隣のクラスの女の子が学校を辞めた次の日だつた。

「えツ・・・・・・?」

正直、学校を楽しめてない時期だつたから少しへきつとした。

「だつて何か楽しそうな顔してないし・・・。」

「モツ・・・・モツ・・・?」

「うへん・・・・・・何かあったの?」

何かあつた……？

・・・かあ・・・。

「うへん・・・・・。中学のときねえ・・・・・。」

「引きずつてんの？彼氏にフフられたとか？」

「うへん。そんなことだつたらいんだけどねえ・・・・・。」

ぶつちやけ、中学時代に付き合つた人数わ10人を超してい  
る。香奈にいつたら、なんじやそれえ！モテモテじやあくん！ズ  
ルイイ！

と言われた。

「今日、放課後に4人で語んない？？」

「うん。何処がいいかね？」

「お金ないから教室で良くない？？」

「いいよ。あとで陸斗と春樹に伝えておかなきやね。あの二人何処  
行つたんだろ？」

「トイレじゃない？むつき陸斗と春樹がトイレ行きたいって騒いで  
た。髪セットしたいんだつさー！」

あつといつまに時間わ過ぎて、放課後の時間わやつてきた。

「何語るかあ～。」

から始まつて、

「言えてるう～！～！」

「超ウケんだけあ～！～！」

つてな感じで話わ発展していった。

「やういえばわあ、わつき菜津美がいつてた中学の時の引きずつて  
るひじゆう話聞いたらまずいかな」

香奈わ、多分、ズットきにしてたんだろう。。。

「んん～・・・。ホントわまずいんだけど3人にだけ教えておくう  
～・・・。」

この話したら泣いやうかな・・・あたし。  
実わまだたちなおつてないんだもん・・・。

実は・・・・・。

「実はあたし・・・・・・。」

・・・・・・・・・。

「実はあたし・・・・。中2の時から付き合つてた彼氏・・・・。

交通事故で死んでるんだ・・・。」

「えつ・・・・・・・・・・。

」

長い間沈黙が続く・・・・・。

これからあたしは、  
神様を憎んだ、

強烈に神の事を憎んだ、  
哀しい過去について、  
みんなに明かすのだ・・・・。

あの事について・・・・。

あの過去について・・・・。

絶の二〇。。

1 e v . 2 (前書き)

香奈に過去の事を聞かれた菜津美。。。

「彼氏が交通事故で死んでるんだよね。。。

神を憎んだその哀しい過去とは。。?

「交通事故・・・？？」

「うん・・・。テレビとか新聞にも載った・・・。  
卒業式が終わって1週間が経つたあと位かな・・・。  
駅前の歩道を歩いてるの見つけたんだ・・・。」

その日、まだニュースでは発表されていなかつた、逃走車がいた・・・。

そして、彼氏は友達と一緒に歩いていた。

その友達は、中学の時に仲良くしていた友達で、あたしも顔は当然、  
何度も遊んだ事もあつた。

あたしが声を掛けると、

「おおー！偶然だなッ！！」

と言つて、あたしがいた、反対側の歩道まで来てくれた。

歩道には防歩柵が立つていなくて、  
よく人がぴょんぴょん飛び出しながら歩き渡つてゐる程だつた。

そしてあたしは、道路側に立っていた。

道路の、300㍍程向いから、ざわつき始めているのに気がついたあたし達は、

なんだうつね・・・。

と聞こながら見てみると、

「菜津美ツ・・・！――ツぶねえツ・・・・――！」

腕を引っ張られたその時だった。

キキイイイイイ-----ツツツツツ-----

ドホー・ハシ

ドサシ

彼氏は、逃走中の車に引かれて即死した。

逃走犯が乗っていた車は時速150KMを越していたそうだ。・・。

• • • • • • •

沈默

まあ、突然こんな、自分の彼氏が交通事故で死んでるんです・・・。  
なんて話聞かされたら黙るのは当然かあ・・・。

「なんかごめん・・・。」

卷之二

まあ、こんな立ち直らずにウジウジしてんのもいけないんだよね・

•  
•  
•

「そんなこと無いよ。俺なんて、彼女に振られて3ヵ月立ち直んな  
かつたし……。  
レベル違いだけど……。」

「ありがと。」

なんか一気にしんみりしちゃつたなあ・・・。

「もう帰らつかッ！――！」

あたしが言つと、

皆も、いつもの元気を取り戻したみたいだつた。

「うん！帰つて早く」飯たべたあ～い？」

「俺んち今日カレー的な事言つたなあー。若干楽しみ（ ^\_○^ ）」

そいつ言つて駅でそれぞれ別れて帰路を辿つた。

「ただいまあ～・・・。」

「菜津美おかえり。」

リビングにいたのは、幼馴染の友樹。

幼馴染でもあり、

・・・元彼氏（死んでしまつた彼氏）の双子の兄だ。

最近、あたしが家に帰ると  
家に居る。

わからんお母さんも居る。

けど、少し位、あたしの気持ちを考えててくれたつてこと思つ。

なんでよりによつて双子なんだろ?と、顔を見る度に思つてこる。

「・・・・・」

「ああた無視? ? ?」

友樹は、元彼の夏樹よりもヤンキーっぽくて、活発のくせに面倒くさいことに關しては手を出さず、女遊びと喧嘩が大好きな女経験が豊富な族に言つ「問題児」である。

いつもは無視すればリビングで、お母さんが出したお菓子を食べて帰る。

・・・・・いつもは・・・・・

今日は、部屋にまで入つて來た・・・・。

・・・・・今日は・・・・・。

胸騒ぎがする・・・・・。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n72551/>

---

空のいろ。。。

2010年10月9日22時37分発行